

# 肺 MAC 症の治療について

## 患者様とご家族のための説明文書

肺 MAC 症（非結核性抗酸菌症の一種）は、主に *Mycobacterium avium complex* (MAC) という細菌によって引き起こされる肺の感染症です。進行すると慢性的な咳や痰、体重減少、発熱、倦怠感などの症状が現れることができます。

### 治療の目的

肺 MAC 症の治療は、症状の軽減と進行の抑制、生活の質の向上を目的としています。治療には長期間（通常 1 年以上）の抗菌薬の服用が必要です。

### 主な治療方法

- **抗菌薬療法**：クラリスロマイシン、エタンブトール、リファンピシンなどの複数の薬剤を併用します。医師の指示通りに毎日服用を続けることが重要です。
- **定期的な検査**：治療効果や副作用の有無を確認するため、定期的に血液検査（治療開始時には 2 週間おき）や画像検査（胸部 X 線、CT 検査）を行います。また定期的な眼科受診も必要となります。（ご紹介いたします。）
- **生活習慣の改善**：バランスの取れた食事や十分な休養を心がけ、体調管理に努めましょう。禁煙も推奨されます。

### 治療中の注意点

- 薬の副作用（肝機能障害、視力障害、胃腸症状など）が現れることがあります。異常を感じた場合はすぐに医師に相談してください。
- 治療を自己判断で中断しないようにしましょう。中断すると再発や薬剤耐性菌の出現リスクが高まります。
- 通院日や検査日は守り、医師の指示に従いましょう。

### ご質問・ご相談

ご不明な点やご心配なございましたら、いつでも主治医または医療スタッフにご相談ください。

## クラリスロマイシン（クラリス）200mg



飲み方：2錠を朝・夕食後に内服

効能：MAC症への基本のお薬

副作用：アレルギー、まれに肝障害あり

飲み合わせ：CYP3A4阻害作用があるため、飲み合わせ注意。（併用禁忌：エルゴタミン、ロメタピドメシル酸塩、タダラフィル、スペレキサント、チカグレロル、イブルチニブ、イバプラジンなど各種あり。）

## エタンブトール（エブトール）250mg



飲み方：3錠を朝食後に内服。

効能：クラリスロマイシンの耐性化を防ぐ。

副作用：アレルギーの他、視神経障害の副作用があるため、定期的な眼科受診が必要。薬を止めれば半年ほどで回復する。

## リファンピシンカプセル 150mg



飲み方：4カプセル朝食前に内服（食後でも可）。

副作用：アレルギー。肝障害、白血球、血小板減少作用を生じるが一過性（注意して経過観察を行う必要あり）。尿、便、汗、涙が赤橙色になるためソフトコンタクトレンズが変色する。CYP誘導効果が強く、CYPで代謝させる薬物の効果を減弱させる。（併用禁忌薬：HIV薬、C型肝炎治療薬、ボリコナゾールなどの抗真菌薬、副腎皮質ホルモン、ワーファリンなど）そのためあらかじめ相互作用のない薬への変更が必要となる。